

## Ⅴ 災害時について

### 21 災害時を意識した近所づきあいの程度

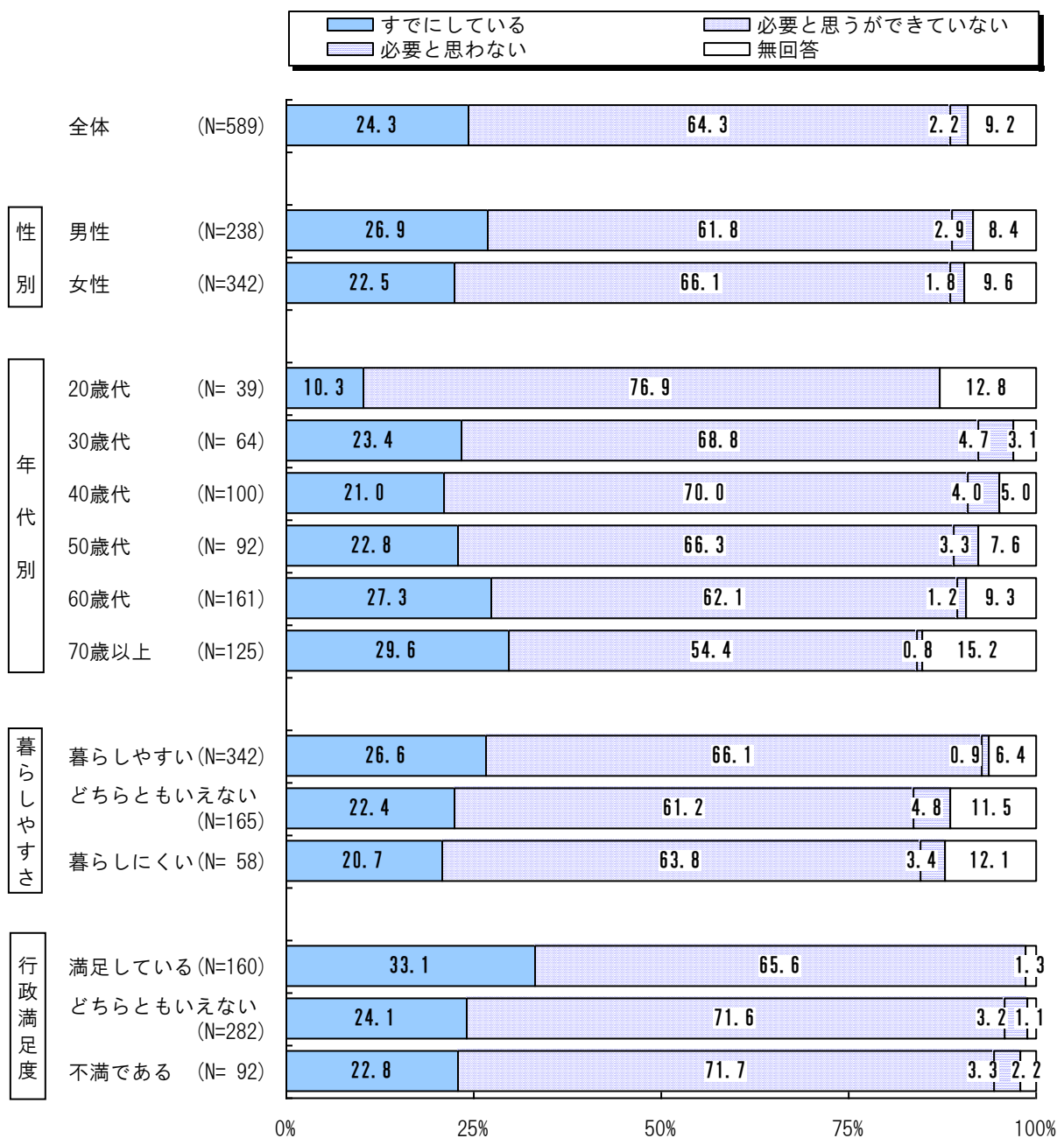
問20 あなたは、普段から災害などの発生時を意識した近所づきあいをしていますか。

(○は1個)

災害時を意識した近所づきあいの程度は、「必要と思うができていない」64.3%が最も多く、次いで「すでにしている」24.3%、「必要と思わない」2.2%となっている。

年代別では、“60歳代”以上で「すでにしている」が多くなっている。

暮らしやすさ別では“暮らしやすい”、行政満足度別では“満足している”で「すでにしている」が多くなっている。



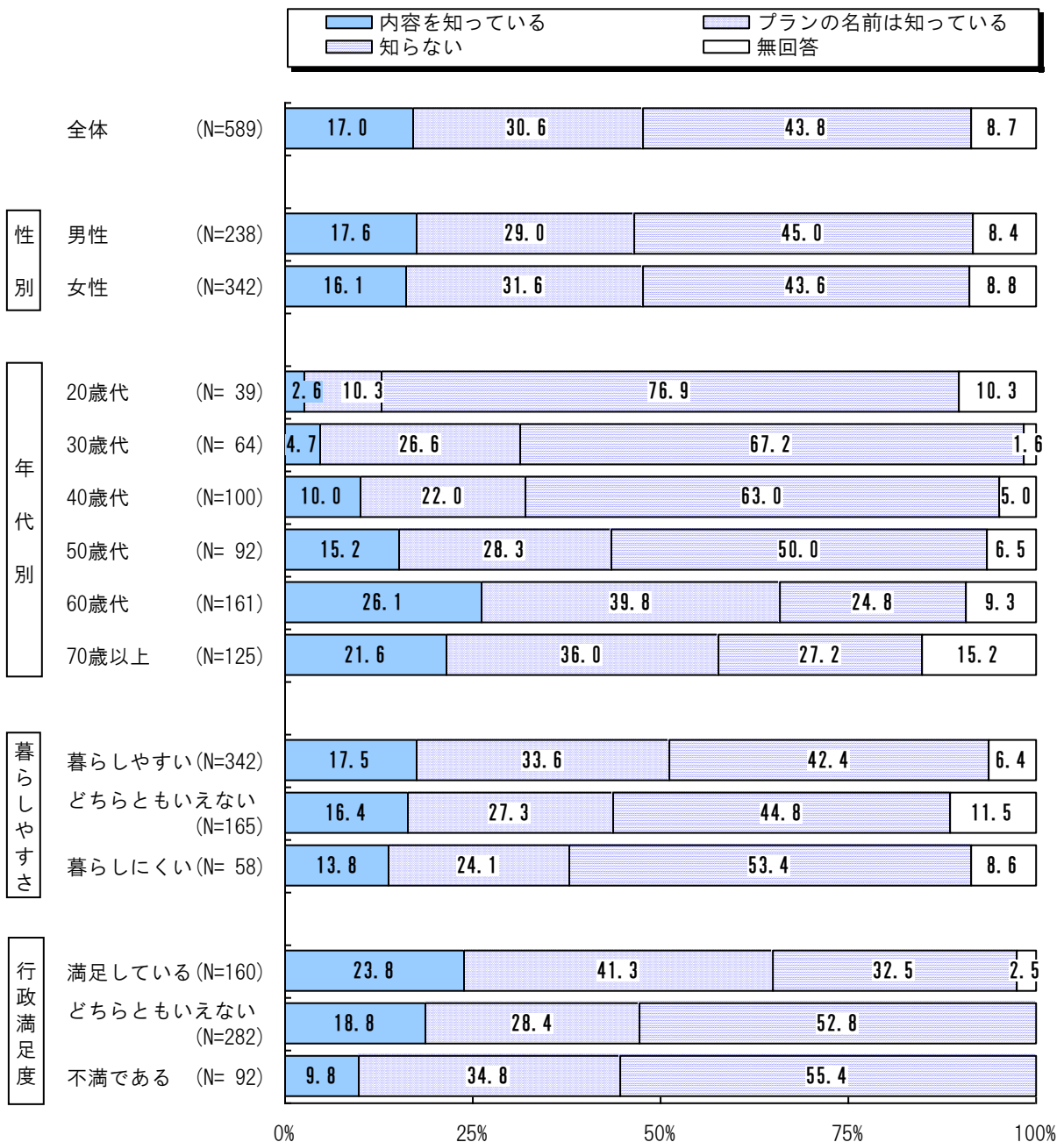
22 岡谷市災害時要援護者避難支援プランの認知

問21 あなたは、岡谷市災害時要援護者避難支援プランをご存知ですか。(〇は1個)

災害時要援護者避難支援プランの認知は、「知らない」43.8%が最も多く、次いで「プランの名前は知っている」30.6%、「内容を知らない」17.0%となっている。

年代別では、“20歳代”から“40歳代”で「知らない」が6割を超えている。“60歳代”以上では「プランの名前は知っている」が他の年代よりも多くなっている。

暮らしやすさ別では“暮らしやすい”、行政満足度では“満足している”で「内容を知っている」が多くなっている。



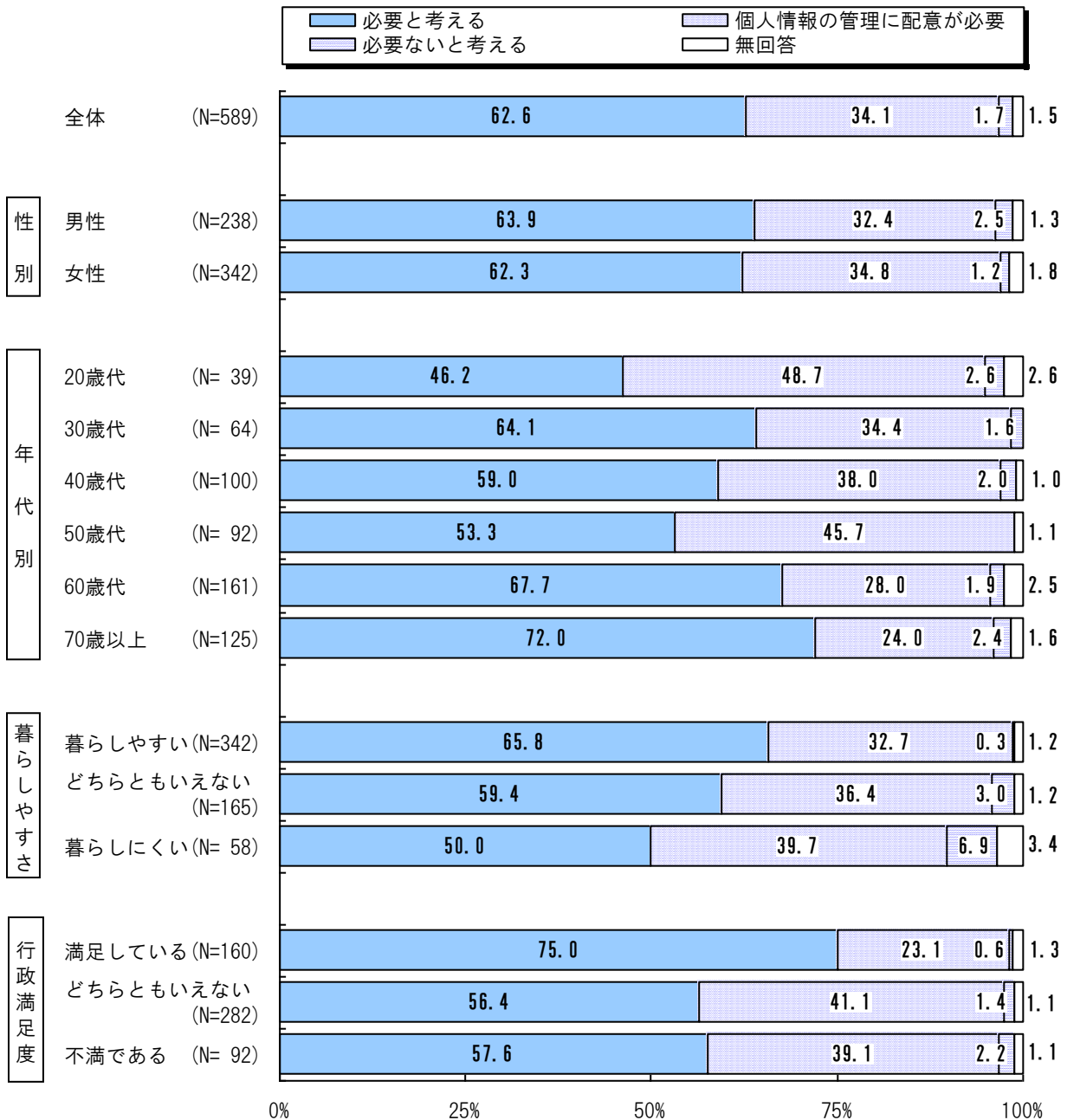
23 要援護者情報の共有の必要性

問22 あなたは、災害時などに備えて、高齢者や障害者などの要援護者の情報を市や区などの福祉や防災の組織で共有することをどう考えますか。(〇は1個)

要援護者情報の共有の必要性は、「必要と考える」62.6%が最も多く、次いで「個人情報の管理に配慮が必要」34.1%、「必要ないと考える」1.7%となっている。

年代別では、“30歳代”や“60歳代”以上で「必要と考える」が6割を超えている。

行政満足度別では、“満足している”で「必要と考える」と回答した人が7割を超えている。



24 情報共有のあり方

問22で「必要と考える」「個人情報の管理に配慮が必要」と回答した方

問23 あなたは情報共有のあり方について、どのように考えていますか。(〇は1個)

情報共有のあり方は、「災害時にかぎり全ての情報を共有」45.4%が最も多く、次いで「同意した人のみの情報を共有」25.3%、「普段から全ての情報を共有」23.7%となっている。

年代別では、“20歳代”から“50歳代”で「同意した人のみの情報を共有」が多くなっている。一方、“70歳以上”は「普段から全ての情報を共有」44.2%が多く、年代が上がるほど多い傾向がある。

